

広報

つちうら

2016

7

Tsuchiura Public Relations

No.1174

特集【高校生と語る】 平成28年5月31日実施

市民と市長のまちかどトーク



土浦市では、市民と行政が一体となった協働のまちづくりの一つとして、市長が市民の皆さんから意見やアイデアなどを直接聴いて、市政に反映しています。今年度は、市内にある7校の高校生の協力を得て、座談会形式で行いました。

問広報広聴課スピード対応室(☎826-1111 内線2376)

まちかどトーク開催にあたり
高校生の皆さんにとっては、学校の勉強が一番大切だと思えますが、今年の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げになりましたので、この座談会をきっかけに世の中の流れや、それぞれのまちが今どのようなようになっていっているのかなど少しでも政治や社会に興味関心を持っていただければと思います。

土浦市長 中川 清

市内の高校に通う高校生と市長による座談会



まちかどトークは次のテーマの中から1つ選んで、自分の意見を述べたのちフリートーク形式で行われました。

- テーマ1「土浦の良い所、または悪い所」
- テーマ2「将来の土浦について」
- テーマ3「選挙の投票が18歳からについて」
- テーマ4「土浦市長になったらやってみたいこと」

テーマ1 土浦市の良い所、 または悪い所



■今 智哉さん(土浦一高)



土浦の悪い所は、治安が悪い事だと思っています。なぜ、治安が悪くなるのか考えてみると、家庭の経済事情や、学校で授業についていけなくなり、学校に行く意味を見失ってしまう人からだと思います。そこで、先生たちがそういう人たちに計算とか簡単なものでも教えてあげる取り組みをして欲しいと思います。

■鶴丸 暉さん(土浦二高)



土浦には生産量日本第1位のれんこんや花火大会など全国に誇れる物がいっぱいありますが、PR力が低く、土浦をアピールするイベント企画などにはまだまだ工夫の余地があると思います。もっとインターネットを通して外部に伝えていけば、土浦も全体的に発展して知名度も上がって、たくさんの方が来てくれると思います。

■富岡楓夏さん(土浦二高)



最近、土浦駅前の整備が進んでいて綺麗になりましたが、その周辺では、シャッター街が多くあまり使われておらず、無駄なスペースになっていて勿体ないと感じています。そういったスペースに、若者向けのお店を入れるなどして、地域を盛り上げるまちおこしをもっとしていくべきではないかと思えます。

■大久保拓斗さん(土浦三高)



土浦の良い所は、たくさん緑があり、日本第2位の湖である霞ヶ浦などの自然に恵まれているため、その自然にふれ、豊かな感性を育むことができる所と、駅周辺には商業施設があり、電車やバスなどの交通網が発達していて、都心に短時間で行ける住みやすい所だと思います。

■三井寧史さん(土浦工業)



休日市街地が栄えていないというのが一番の問題だと思うので、土浦駅の西口側にはインドア派の趣味の店をつくって、東口側には霞ヶ浦があるの釣りを楽しむ人のためにアウトドア派の店をつくれれば、釣りの名所にもなって、電車釣りに行けるといふほかではあまり聞かない市になるのではないかと思います。

■塔ヶ崎紀久美さん(常総学院)



土浦の良い所は、昔からのご近所ネットワークが強いところだと思います。ご近所の方が気にかけてくれて交流が深く、また、塾で帰りが遅くなっても、防犯パトロールの方が歩いていてすごく安心だなと思います。そういう事が住みやすい所で、土浦市に移り住んでくれる方もあると思うので、そこを強化していくことが大切だと思います。



議場見学の様子

■那須彩美愛さん(常総学院)



土浦には、霞ヶ浦がありますが、行きたいという人はあまりいません。しかし、きれいじゃなくても人を呼び込む方法を考えなくてはいけないと思います。イメージとしてはアメリカのサンアントニオで、リバーサイドに華やかなお店があつて、夜はライトアップされてすごくきれいになっています。夜は暗くてあまり行きたくないもので、そこを少しずつでも改善すればイメージはいいものになっていくと思います。

市長のコメント

東日本大震災の経験を経て、その地域の絆が、大切だということが分かってきました。ご近所づきあいがなかなか難しいと感じている方たちもいるとは思いますが、何かあったときには、自分だけではできないこともありますので、やはり共助が大事だと思っています。普段からの付き合いを大切にして絆を育むことが重要なのではないのでしょうか。

テーマ2 将来の土浦について

柳澤綾乃さん(土浦三高)



20年後の土浦市の人口は減少し、コミュニティの維持が難しくなっていくのではないかと考えます。就職にともない、より職場に近い所に家を持ち、子供世代が戻らないことが原因の一つであると思います。考えられる改善策として、公共交通機関のさらなる充実、子育てしやすい環境の整備、働く場の充実などがあると思います。

野口海登さん(土浦工業)



将来の土浦市は今発展しているつくば市と合併しているかもしれないですね。つくば市の発展につくばエクスプレス(TX)が大きな影響を与えていると考えています。もし可能であれば、TXの始発が土浦市になれば経済の発展やまちおこし、住宅街の増加につながり、20年後の土浦市がつくば市のような活気のあるまちになると良いと思います。



市長のコメント

将来の土浦にとって安心安全のまちというのが一番大切だと思います。その最たるものが防犯ではないかと思っています。さらには、病院がある、子供が安全に遊ぶ場所がある、学校がある、卒業したら働く場所があるということが安心安全につながるのではないかと思います。あとは自然災害に強いまちと、企業を誘致して、まちに活気があるというのがいいですね。

テーマ3 選挙の投票が18歳からについて

圓城寺俊輔さん(土浦湖北)



この改正には高校3年生で受験を迎えるので、反対の意見を持っています。政治に対して18歳が意見を出すことよりも、もっと勉強して、もっと上を目指したいと思っています。しかし、若いうちから政治に対して意見を持つことは大事だと思うので、まず選挙権を与える前に、政治について知る機会をもっと増やした方が良いと思います。

横瀬日葵さん(土浦日大)



選挙権が18歳に下げられたことについて、良い点としては、政治を身近なものとしてとらえられるよい機会になることです。また、選挙権を持つことによって私たち18歳に向けた制度がもっと取り入れられることです。積極的に政治に関心を持って投票をし、そのためにも政治のことを知る機会が増えたら良いのではないかと思います。

市長のコメント

政治に興味を持つ関心を持つということは、大切だろうと思います。社会に生きていく責任を自分もしっかりとはたしていくことが重要だと思います。若い方たちが、これからの日本を築くのですから、将来を考えて選挙に行く必要があると思います。ですから皆さんが言われた通り、政治や社会について知る機会を設けることも必要になってくるだろうと思います。



テーマ4

土浦市長になったら やつてみたいこと

田中理奈さん(土浦一高)



土浦市のPRの方法を変えたいと思います。私が目を付けたのが自然の豊かさや農業が盛んなところです。退職後に忙しい都心の生活から離れて、地方でゆっくりしたい方や小中学生に農業体験ができる仕組みをつくりたいと思います。

杉崎綾香さん(土浦湖北)



今よりもっと明るく安全なまちをつくることです。街灯を増やしたり、明かりの代わりとなるようなものを付けていきたいと考えています。そして、他の県の人から土浦市は安全なまちなんだなって思ってもらえる市にしたいと思います。

安達麻有さん(土浦日大)



子どもを増やす政策をしていきたいと思っています。それがまちを活性化することだと考えています。今、日本は、高齢化社会が進み、活気がないまちになってしまおうと思うので、子どもを生みやすくて子育てしやすい環境をつくっていききたいと思っています。

市長のコメント

土浦市には良い所がたくさんあります。今年、土浦の魅力が市内外に知ってもらうためシティプロモーションの取組みを始めました。また、市民一人一人に「土浦がいいんだよ」と言ってもらうことが一番のPRにつながると思います。今、田舎に憧れて自然と一緒に過ごす人も多くなってきました。住んでみたいと思われるまちづくりを進めたいですね。